

栃木県水稻生育診断情報号外 第2号

★★★早植コシヒカリの刈取り開始予測★★★

令和5(2023)年8月18日

栃木県農業試験場

- 刈取開始予想日は8月20日(県南)～9月11日(県北)頃で、**昨年より7日程度早まる**見込み。
- 今後の**高温によりさらに前進する可能性**あり。
- 刈り遅れによる**胴割粒**の発生に注意する。

農業試験場の生育診断ほ場におけるコシヒカリの出穂期(5月2日移植分施区)は7月20日で、過去10年間の平均出穂日より8日、昨年より6日早まりました。

出穂期からの積算気温が1000℃(一部950℃)を超える日を刈取り開始予想日とすると、5月4日に移植したコシヒカリの収穫日は8月20日(県南)～9月11日(県北)頃となり、**昨年より7日程度早まる**見込みです(図1)。

ただし、向こう1か月の気象予報(8月17日発表、関東甲信地方)によると、平均気温は平年並みまたは高い確率が90%であり、**刈取開始はさらに早まる可能性があります**。

コシヒカリの収穫適期の目安は**帯緑色籾率***10～3%ですので、**10%程度**になったら収穫を開始してください。ほ場ごとに登熟の進み具合は異なることがあるので、ほ場ごとに**帯緑色籾率**を見て、**収穫期を判断して下さい**。

※ 帯緑色籾率は、5穂程度をそろえて持ち、穂のもとの方にあるやや緑がかった籾の割合で判断します。

米の品質低下の要因の一つとして、刈り遅れによる**胴割粒**の発生があります。また、胴割粒は出穂後 10 日間の最高気温の平均が 30℃以上で推移した場合にも発生しやすくなります。特に、今年のように出穂後の登熟期が高温で経過した場合は、**葉や枝梗が緑色でも、籾はすでに黄変して刈取適期を過ぎてしまうことがあるので**、早めの収穫の準備と的確な判断が重要です。

なお、適期を過ぎて収穫した場合は、乾燥温度を通常より低く設定し、ゆっくり乾燥して（毎時乾減率 0.8%以下）、胴割粒の多発等による品質低下を防ぐことが必要です。

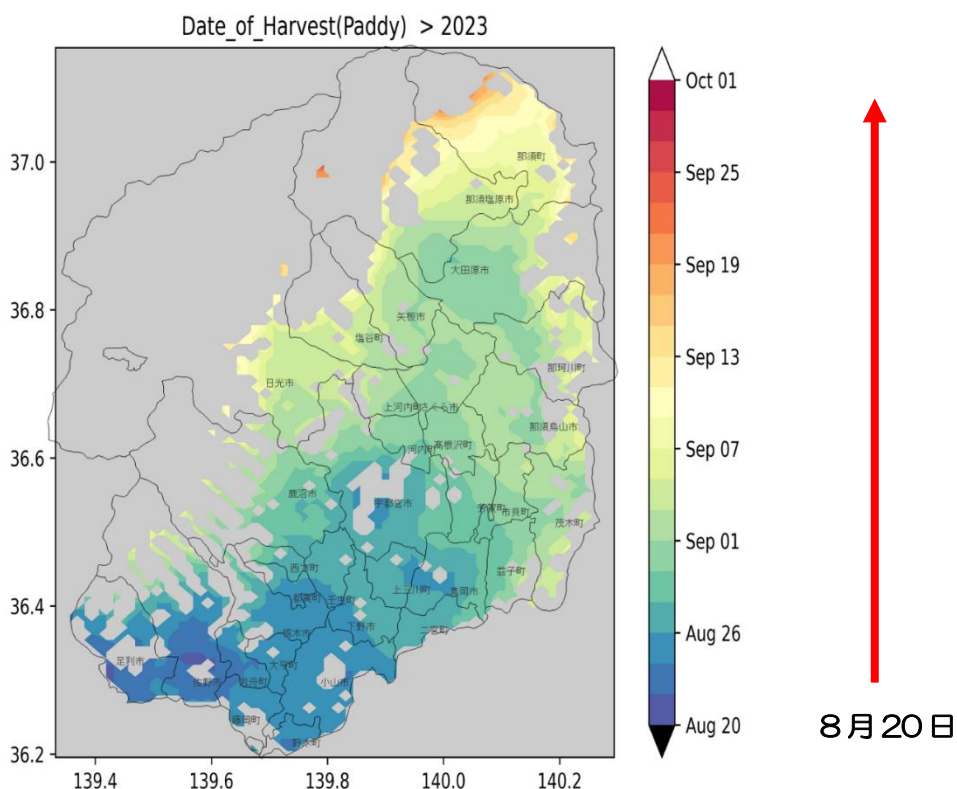


図1 刈取開始予想（5月4日移植）

※ メッシュ農業気象データから算出。7月21日～8月17日までが実測値、8月26日までは気象庁の数値予測情報に基づいた予測値、8月27日以降は平年値を用いて推定しました。出穂後10日間の平均気温が27℃を超えた地域では、積算気温が950℃で刈取り開始としています。